

















































































えらばずに咲かす  
花ぬ美事

貧乏やぬ庭ん  
金持ぬ庭ん

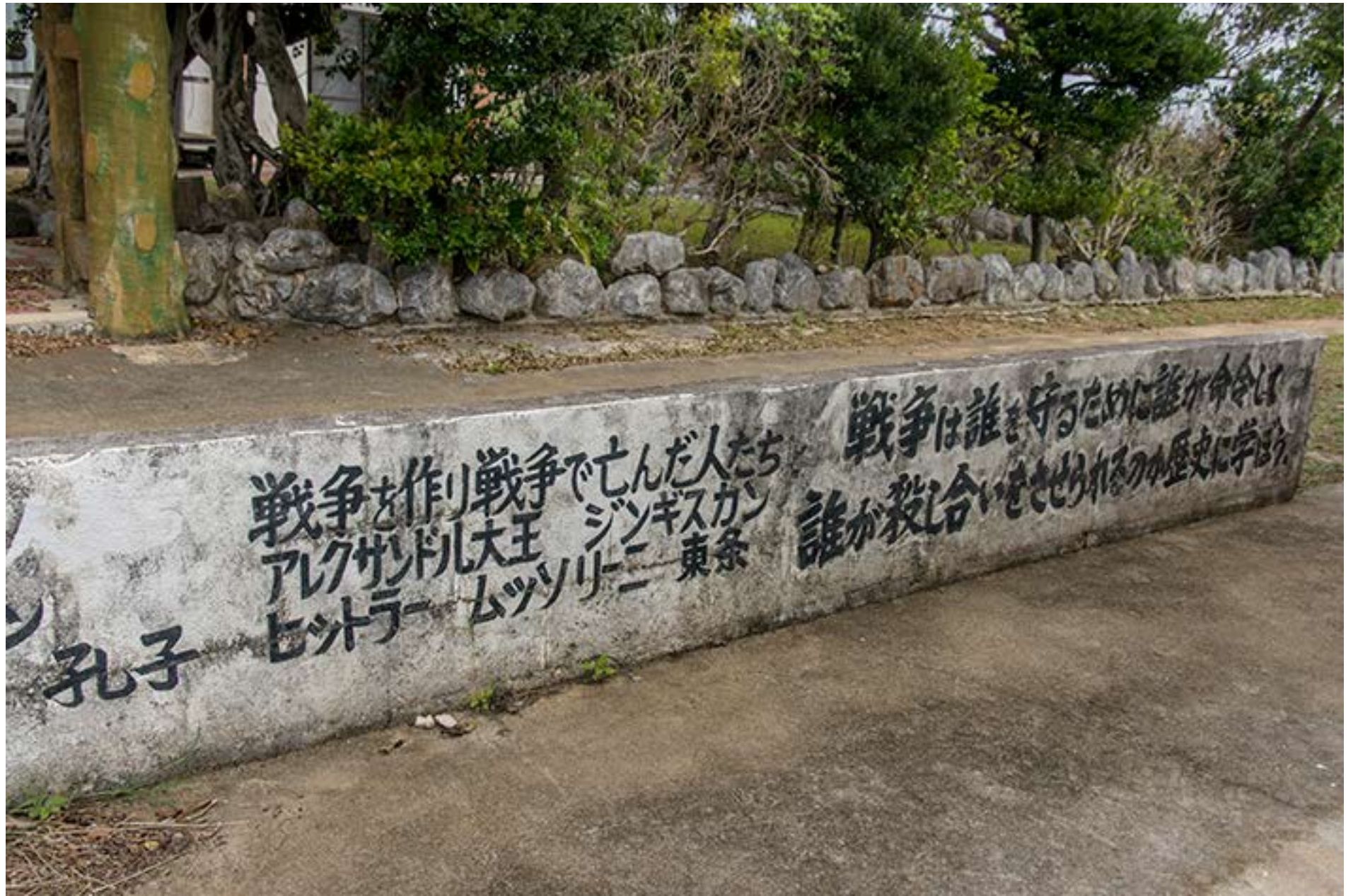
The flowers in the gardens  
of both the rich and the poor  
How beautiful they bloom

人きのろ











座談会規定

一米軍と話をする時は、よく大  
中で何も持たないで座って話すこと

一決して短気をあてたり  
相手の悪口を言わないこと

一どうもごつわりのこと言わないこと  
一布衣布告によらず道理と誠意をきいて話す

一沖縄人同志は如何なることがあつても  
決してケンカをしないこと

一私たちは挑発に乗らないためこんどいも  
常にこの規定を守りませう

伊江島土地を守る会 一九七〇年六月







# 伊江島土地を守る会

## 米軍に告ぐ

一土地を返せここは私たちの国  
私たちの村私たちの土地だ

一侵略者伊藤博文東條の悲劇に学ば

汝らは愛する家族が

米本国で待っている

一聖なる農民の忠告を聞け

さらば米国は永遠に栄え

汝らは幸福に生きのびん

。剣をこる者剣にて亡ぶ(聖書)

。基地を持つ国は基地にて亡ぶ  
(歴史)

一九五五年五月

伊江島土地を守る会

## 演習地を直ちに撤去せよ!

## 再び戦争の犠牲になるな!

伊江島には核  
爆弾の演習基

戻ってくる

う人間。矚し合いではなく教え合う人間。それう人間が平和を作る





伊江島土地を守る会

伊江島土地を守る会

一九五五年五月

米軍に告ぐ  
「伊江島」は日本の領土である。米軍がここに駐屯し、演習地として利用していることは、日本の主権を侵害し、我々の生活に支障を及ぼしている。米軍は、この島を去れ。我々の生活を取り戻せよ。米軍は、この島を去れ。我々の生活を取り戻せよ。米軍は、この島を去れ。我々の生活を取り戻せよ。

演習地を直ちに撤去せよ！  
再び戦争の犠牲になるな！  
他国民に与えた不幸は必ず自国民に返ってくる  
殺し合いではなく助け合う人間、奪い合いではなく譲り合う人間、闘い合いではなく話し合う人間、それらの人間が平和を作る。

























































































伝説の地ニヤテイヤ  
ここには古来から子授  
け神として崇められてい  
るビジル石がある。その石  
を持ち上げ軽いと感じれ  
ば女の子、重いと感じたら  
男の子だと言ひ伝えられ  
ている。毎年旧暦三月には  
ノロ(女神)による三月ニヤ  
テイヤ祭りがある。  
又戦時中は村民の避難所  
に利用され優に千人は入  
れるといふことから「千人  
洞」ともいわれている。









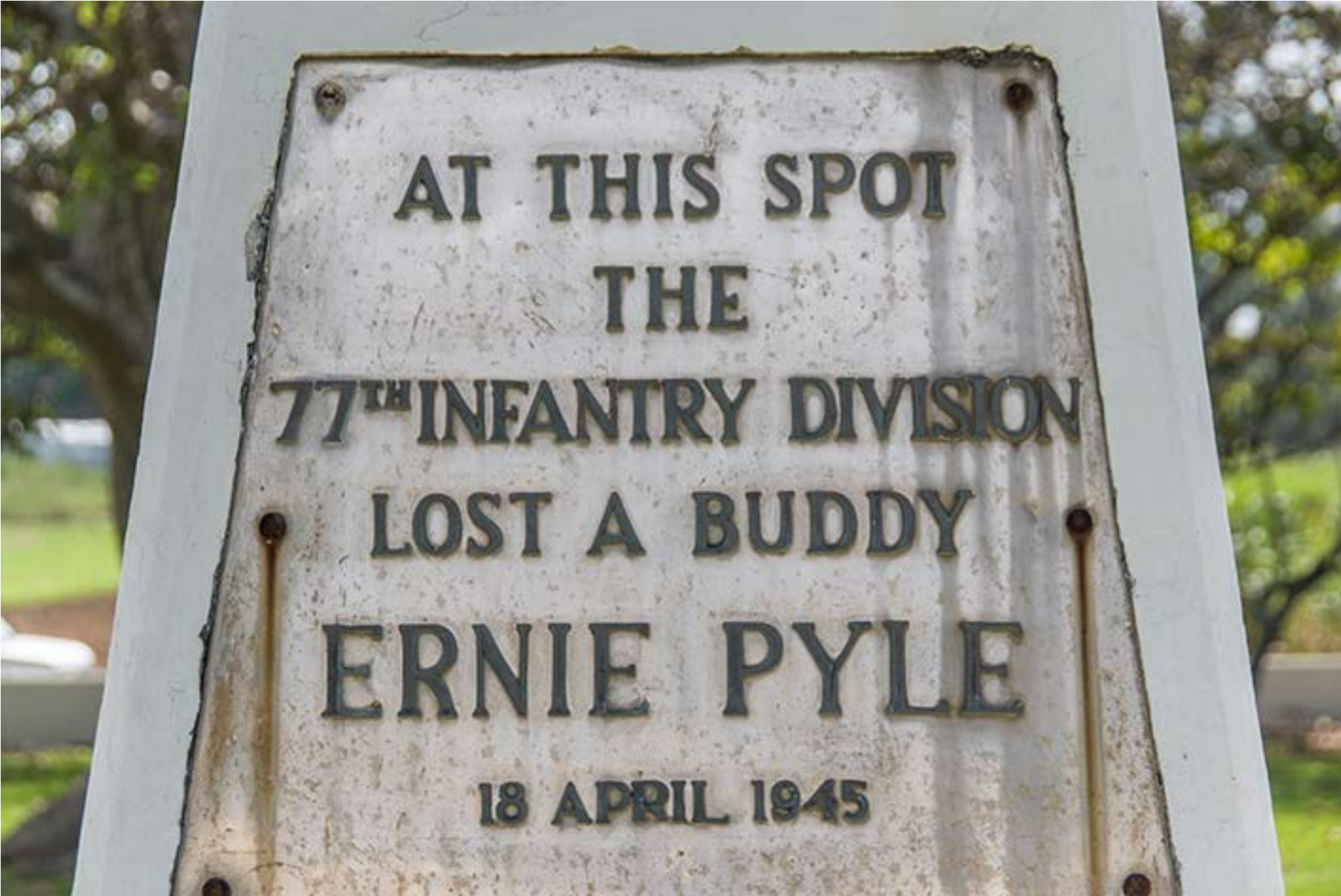












AT THIS SPOT  
THE  
77<sup>TH</sup> INFANTRY DIVISION  
LOST A BUDDY  
ERNIE PYLE  
18 APRIL 1945



## アーニー・パイル (本名、アーネスト・テイラー・パイル) の生涯

生年月日 1900年8月3日

故郷 アメリカ合衆国インディアナ州 タナ  
 経歴 彼はインディアナ大学に在り、ラポーター・ヘルムドにおいて  
 見習いレポーターとしてキャリアを積み  
 1935年 彼は戦に向かう仕事に飽き、特ダネを探し始める。  
 1940年 ロンドンのラフトワッフ登壇の記事を鮮明に書く。  
 1942年 彼はアメリカ軍に通信員として入隊し北アフリカやイタリア  
 ノルマンディ・ドイツに同行し、戦場の男たちの様子を記事にした。  
 1944年 彼はジャーリストとして最高の名誉であるピューリッツァー賞を  
 授けられた。  
 一時アメリカ合衆国に戻ったが、すぐに第77歩兵隊に入隊する。  
 1945年 彼はアメリカ軍の沖縄上陸に同行し、4月16日伊江島に上陸した。  
 4月18日取材中に日本軍の弾に当たり、この地に生涯を閉じた。  
 第33代アメリカ合衆国 トルーマン大統領もパイルの死を悼んで  
 特別のステートメントを発表した。

※彼は兵士の視点から戦争を情動的に書いて第二次世界大戦で有名に  
 なったジャーナリストである。彼にとって戦争の道具はノート、ペ  
 ンそしてタイプライターであった。彼の功績を讃えるために在沖在  
 郷軍人会が碑を建立し、毎年4月18日に近い日曜日に慰霊祭が行わ  
 れている。  
 私達伊江村民は誓う  
 二度とあの恐ろしい戦争を繰り返さない、平和な世界を築くことを。

2000年7月22日 伊江村

沖縄サミット並びにアーニー・パイル生誕100年記念



Ernie Pyle (1900-1945)

## The Life of Ernest Taylor Pyle

Date of Birth: August 3, 1900

Place of Birth: Tana, Indiana, U.S.A.

Career: After attending Indiana University, Ernie Pyle began his career as a job  
 reporter for the La Porte (Indiana) Herald.

1935: Pyle tired of desk work and began doing roving assignments.

1940: Wrote vivid descriptions of the Luftwaffe bombings in London.

1942: Joined the American troops as a correspondent and went to North Africa,  
 Italy, Normandy and Germany to write about soldiers in combat.

1944: Was awarded Pulitzer Prize, an honor given to the best journalist.  
 Returned to United States shortly, but was joined the men of the 77th

Infantry.

1945: Landed on Okinawa with American troops, then landed on Ie-shima. On

April 18, his life was taken by a bullet from a Japanese fighter. The United

States' 33rd President, Harry Truman, insisted on personally delivering a

special statement to pay tribute to Ernie Pyle.

Ernie Pyle was a journalist who became famous during World War II for his emotional firsthand

accounts of the war from the "G.I." point of view. His tools of war were his notebook, his pen and

his typewriter. The Okinawa chapter of the American Legion built a monument to honor Ernie

Pyle, and have maintained the memorial services every year on the Sunday closest to 18 April.

We, the people of Ie Village, vow that we will never have such a horrific war again, and will try

to make the world a peaceful place.

July 21, 2000: Willage

Okinawa Summit Meeting / The Memorial Service for the 100th Anniversary of Ernie Pyle's Birth.







村指定史跡 公益質屋跡

この建物は昭和四年十二月に建てられたものである。

公益事業は個人高利貸の暴利に泣く村民を救う村の唯一の福祉事業で利用者から質草を受け低利により融資を行いその更生をはかった。

第二次世界大戦の悲惨な攻撃を受け村内にある建物はことごとく焼き掃われたが、この建物のみである。

補修工事 昭和六〇年三月















































































































































































































